

「もしも」を「いつも」の暮らしの中に。

風呂敷と日常着で備える、防災展「サステナブルパッキング 2026」開催

～1月17日「防災とボランティアの日」には、親子で学ぶワークショップも実施～

株式会社ビオスタイル（本社：京都市下京区、社長：山下剛史）が運営する複合型商業施設GOOD NATURE STATIONは、阪神・淡路大震災から31年を迎える2026年1月17日（土）より、4階「GALLERY」にて企画展「サステナブルパッキング2026」を開催いたします。本展は、日常の備えをサステナブルな視点で見直し、「非日常の備えを日常に取り込む」ライフスタイルを提案する展示です。期間中は、多用途に使える風呂敷を活用したパッキング術や、インテリアに馴染む防災グッズの紹介を通じ、ムダのないエシカルな防災の形を発信します。



「備蓄」から「活用」へ。近年、防災への意識が高まる一方で、備蓄品の賞味期限管理や処分の難しさが課題となっています。本展では、単に物を蓄える「備蓄」から、日常的に使いながら備える「ローリングストック」や、一つの道具を多用途に使い回す「サステナブルパッキング」へのアップデートを提案します。

特に注目するのは、日本の伝統文化である「風呂敷」の可能性です。災害時にはバッグや防寒具、さらには応急処置の道具としても機能する風呂敷を軸に、日常使いできるデザイン性と防災機能を両立させたライフスタイルを提案します。

また、開催初日の「防災とボランティアの日」には、次世代を担うお子さまとそのご家族を対象としたワークショップを開催。クイズや実演を通じ、いざという時に自分や大切な人を守るために「まもる力」を楽しく学べる機会を創出します。

【本リリースに関するお問合せ・ご取材希望について】

株式会社ビオスタイル 広報宣伝部 担当: 中久保 TEL:075-352-6677

e-mail : nakakubo-rina@biostyle.co.jp

■防災展「サステナブルパッキング 2026」について

4F 「GALLERY」にて、「非日常の備えを日常に取り込む」というテーマを具体化するため、以下の3つのエリアに分けて展示を行います。

エリア1：備えのアップデート（日常と防災の融合） 最新の防災トレンドにサステナブルな視点を融合させ、日常の暮らしをそのまま備えに変える提案をいたします。インテリアに溶け込む洗練されたデザインの防災グッズや、「日常使いできる道具」をいざという時に役立てる具体的な活用例を展示。また、備蓄品のムダをなくし、常に新鮮な状態を保つ「ローリングストック法」を実践するための陳列アイデアも紹介します。

エリア2：サステナブルパッキングと風呂敷（多用途の知恵） 災害時・避難時の荷造りを、一枚で何役もこなす「風呂敷」を中心に構成するアイデアを提案します。京都の風呂敷メーカーの山田繊維株式会社が運営する「むす美」協力のもと、撥水加工を施した風呂敷を用いた「背負う」「運ぶ」ためのアイデアを展示。

エリア3：防災×食（おいしい備蓄） 「もしも」の時も心を満たしてくれる、おいしさと環境配慮を両立した備蓄食を紹介します。ローリングストックを促進するため、日常の食卓でも楽しみたくなるような、GOOD NATURE STATIONならではのエシカルな加工食品を通じ、備蓄食の新しい可能性を提案します。

【概要】

名 称：「サステナブルパッキング 2026」

場 所：4階「GALLERY」

期 間：2026年1月17日（土）～2月15日（日）

詳 細：<https://goodnaturestation.com/topics/%topics-category%/topics-20990/>



■オープニング特別企画ワークショップについて

本展の開始日である1月17日「防災とボランティアの日」に合わせ、メインゲットである親子向けの特別ワークショップを無料で開催いたします。テーマは、親子で楽しみながら「まもる力」を育むことです。

プログラムには、防災に関する知見を持つ防災士・太田 興氏による「まもる」クイズや、山田繊維・むす美の山田 悅子氏による風呂敷を使った「親子のサバイバルパッキング」実演が含まれます。

【概要】

名 称：「防災とボランティアの日」特別企画 親子で育む
【まもる力】ワークショップ

日 時：2026年1月17日(土) 14時～15時15分

場 所：4階「ワークショップテーブル」

定 員：16名（参加費無料）

対 象：小学校低・中学年のお子様とその保護者

詳 細：<https://goodnaturestation.com/topics/experience/topics-20992/>



過去開催時の様子

■協力体制

本展は、持続可能な社会を目指すGOOD NATURE STATIONの想いに共感いただいた、各分野のスペシャリストとの連携により実現いたしました。

- ・むす美（山田繊維株式会社）：京都の伝統である風呂敷の製造・卸メーカーとして、多用途でサステナブルな「防災ふろしき」の提供や展示の監修、ワークショップでの実演にご協力いただいています。
- ・防災士・太田興氏：防災の専門家として、最新の知見に基づいたワークショップの講師を務めていたくほか、展示内容のアドバイスを通じて本展の信頼性を支えています。
- ・各協賛企業：インテリアに馴染む防災グッズや環境に配慮した備蓄食など、本展のコンセプトに合致するアイテムの提供や情報発信において連携しています。

（展示予定）株式会社トライフ 「オーラルピースプロジェクト」



山田繊維株式会社
山田悦子氏



現役防災士
太田興氏



オーラルピース

■会社概要

SDGsを実現するライフスタイルを提案する京阪グループの「BIOSTYLE PROJECT」について

健康的で美しく、クオリティの高い生活を実現しながら、SDGsの達成にも貢献していく。京阪グループでは、そんな循環型社会に寄与するライフスタイルを「ビオスタイル」として展開し、お客様にご提案しています。規制や我慢だけから生まれる活動ではなく、“人にも地球にもいいものごとを、毎日の生活の中に、楽しく、無理なく、取り入れていくことができる明るい循環型社会の実現”に貢献するため、京阪グループにできうる様々な活動を推進していきます。

► 「BIOSTYLE PROJECT」について詳しくは[こちら](#)

KEIHAN
BIOSTYLE
PROJECT

京阪グループのSDGs ビオスタイルプロジェクト

未来は、楽しく変えていく。

株式会社ビオスタイルについて

株式会社ビオスタイルは、京都・四条河原町に2019年12月に開業した複合型商業施設「GOOD NATURE STATION」の運営会社。京阪ホールディングス株式会社のグループ会社として、京阪グループが推進する“SDGsを実現するライフスタイル”を企画・提案する「BIOSTYLE PROJECT」を牽引し、“信じられるものだけを、美味しく、楽しく。人も地球も元気にする「GOOD NATURE」”というコンセプトの下、サステナブルな商品開発、施設運営を行っています。これらの企業活動を通じ、SDGs達成に貢献するとともに、社会と調和した持続的な成長を目指します。

【本リリースに関するお問合せ・ご取材希望について】

株式会社ビオスタイル 広報宣伝部 担当: 中久保 TEL:075-352-6677

e-mail : nakakubo-rina@biostyle.co.jp